

令和元年度 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）

学校教育目標		今年度の重点目標	
(1) 目指す子ども像 なかよく 元気に がんばる子 (2) 育てていきたい力 ・思いやり助け合える心 ・心身ともに健康な体 ・進んで学習する力		(1) 1. 道徳教育の充実 2. 豊かな感性の育成 3. 人権教育の充実 4. 進んで働く子の育成 5. 家庭・地域社会との連携 (2) 1. 体育科の授業の充実 2. 健康教育・食育の充実 3. 基本的生活習慣の確立 4. 自他の命を大切にする子の育成 5. 家庭・地域・関係機関との連携 (3) 1. 授業力の向上 2. 児童理解に基づいた確かな支援 3. 学習規律の確立 4. 学び合う学級集団づくり 5. 体験的な学習活動の充実	
評価項目	自己評価指標	成果と課題・改善策	学校関係者評価
教育目標	学校教育目標に則り、重点目標実現のための具体的な取り組みがなされている。	学校教育目標と校内研究テーマ『自分の考えをもち、表現し、紡ぎ合える子の育成』に重点的に取り組んできた。 海洋教育の目標である「海に親しみ、海を知る」「海を利用し、海を守る」「海から身を守る」の3つの柱に重点的に取り組んできた。	学校評価アンケートから 「子ども一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている」95% 「子どもは、楽しそうに学校へ通っている」96% 「海に親しむ」「海を利用する」ということは、特に良くできていた。 体験活動や、食育と連携して、児童は、海への親しみ・愛着を増していった。
	学校経営方針に基づき、教職員の協力により学校経営がなされている。		
学校の特徴	児童が進んで挨拶するよう指導に努めている。	地域の方や友達と元気よく挨拶ができる学校を目指し、児童会を中心に挨拶に意欲的に取り組んでいる。 授業参観は学期に1~2回実施し、それに合わせて学級懇談や保護者学級、育友会行事などを実施し、学校と保護者・地域の交流に積極的に取り組んでいる。 図書館司書教諭の助けも借りながら、図書室の整備を行い、児童が本に親しみやすい環境づくりに努めている。また、読書の時間の確保を行い、定期的に読書の時間を設けている。 少人数を生かした授業改善に努めている。今後も複式学級を見据えた取り組みを継続しておこないたい。 児童が主体的に学習に取り組めるよう、学年段階に応じた「学び方」の指導を計画的に行っている。 様々な学習活動の中で『海』を意識して学習に取り組み、地域を知ったり、体験活動を通じて地域について学ぶことができた。	・自分から進んで挨拶をする子どもが増えてきている。さらに増えることを望んでいる。 ・どの学級も落ち着いて学習に取り組んでいる。
	授業参観や学校開放週間を保護者や地域に伝え、定期的に行っている。		
	児童が積極的に読書活動に取り組むよう、指導に努めている。		
	少人数の良さを生かして、学習指導や指導方法を工夫している。		
	海に近い立地条件を活かし、学校教育と海を繋げて学習に取り組むカリキュラム編成をしている。		
学校指導	児童の学びの意欲を喚起するよう授業を工夫している。	各学年の実態に合わせて、学習意欲を喚起する指導を工夫し、基礎基本の定着に力を入れてきた。 少人数の良さを活かし、一人ひとりきめ細かい指導をするよう意識して授業をしてきた。 全学級担任が研究授業を実施し、教育委員会の指導主事を要請して、授業力の向上に向けて取り組んだ。	学校評価アンケートから 「学校は授業を工夫し、一人ひとりに応じた学習を行っている」89% 「子どもは、学習がわかり、基礎学力が身に付いている」88%
	学習の基礎基本の指導に取り組んでいる。		
	児童の個々に配慮した指導に取り組んでいる。		
児童指導	児童の規範意識を育む指導に取り組んでいる。	小規模校ならではの利点を活かし、全教職員が児童のことを共有することで、児童理解に努めることができた。また、児童とのコミュニケーションを積極的に取り、教職員が連携を取りながら適切な指導ができるよう心がけている。 学期に1回、必ずいじめアンケートを実施し、そのアンケートをも	学校評価アンケートから 「子どもが、学習や生活について、先生に相談できる学校になっている」95% 「学校は子どもに、生命を大
	児童とのコミュニケーション、児童理解に努め、いじめの早期発見と再発防止に取り組んでいる。		

	児童の健全育成のために学校・地域・関係機関との連携が図られている。	とに聞き取りを行う等、いじめの未然防止・早期発見に努めている。	切にする心や社会のルールを守る態度を教育している。」92% 「学校はいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」94%
安全・保健・管理	学校災害（地震・火災）時の対処や身のまわりの安全について指導している。	海洋教育3つの柱の一つ「海から身を守る」 地震・津波の避難訓練は年に4回実施し、防災の日に合わせた避難訓練では保護者の協力や役場職員による防災教室等を実施し、被災時の行動についても継続的に取り組んでいる。	避難訓練について児童は非常に一生懸命取り組んでいる。
	児童の個人情報の扱いについては十分に注意を払っている。	また、火災避難訓練では町消防本部から指導を受け、煙体験・消火訓練等の実技訓練も定期的に行っている。	
情報	保護者や地域に学校の教育活動について広報している。	教育活動の周知に努めている。メールの活用や「学校便り」の配布・回覧、メディア取材の受け入れ等、広報活動に取り組んでいる。	学校評価アンケートから「学校は教育目標・経営方針を保護者・地域の方にわかりやすく伝えている」84%
保護者・地域との連携	教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす体制が整えられている。	授業参観や学校行事催行時には、保護者や地域の方にも参加していただき、児童の活動意欲喚起につなげている。学級懇談や個別面談を計画的に行い、保護者との情報共有に努めている。	学校評価アンケートから「家庭・地域は、学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携・協力している」95%
	保護者や地域との連携を密にし、互いに積極的に関わられるように努めている。	海洋教育では、学区内にある水産施設の見学・体験や町内の水族館やダイビングショップ等の施設・学芸員と連携を取りながら、児童により深く体験的な活動を提供することができた。	
組織・運営	教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう「報告・連絡・相談」が機能的に行われている。	教職員が少ないため、教職員間の情報共有・相互理解は図りやすい。また、一人ひとりの職務負担は大きくなりがちなので、協力できることは助け合って負担軽減を図っている。	校務の効率化を図り、ふだんから情報共有を積極的に行い、勤務時間の管理に努めている。
	会議は、能率的・建設的に行われている。	会議については、時間設定をおこない、その時間内に終われるよう意識しながら取り組んでいる。	
施設・設備	校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理・整備・保全している。	月に1回安全点検を行い、点検箇所はローテーションを組んで、全職員で点検している。不備等があった場合は、管理職が確認し、修理・整備を行う。 管理職と用務員は、日常的に学校の整備・美化に努めている。	学校評価アンケートから「学校は、子どもの安全確保・保健管理のための取り組みを十分行っている」95%